

CASSIOPEIA—UHC達成に向けて、対象の5つの病院における、5つ星に輝く質の高い医療ケアサービスを目指して

## JICA ルサカ郡総合病院運営管理能力強化プロジェクト



マテロ一次レベル病院の感染予防管理チームと、プロジェクトのニャンガ専門家、ルサカ州保健局の主任環境保健担当官キャセル・チボラ氏(右から3人目)。

国立国際医療研究センター(NCGM)の国際医療協力局から局長と部長がカニヤマ病院を訪問

国別研修(2025年1月)の参加者がチャワマ、チレンジェ、マテロの各病院で感染予防管理(IPC)ラウンドに参加

フォト・フォーカス



## 国別研修(2025年1月)の参加者がチャワマ、チレンジェ、マテロの各病院で感染予防管理(IPC)ラウンドに参加



チャワマ一次レベル病院の看護師ジャクリン氏と、ルサカ州保健局の看護主任イヌトゥ・バングウェタ氏がIPCラウンドを実施。

**2025年1月16日から1月30日までに日本で開催される国別研修に参加するスタッフが、チャワマ、チレンジェ、マテロの3つの病院(FLH)で行われた感染予防管理(IPC)チームの取り組みに参加しました。**

2024年11月11日、マテロ病院は、環境衛生技術者のカンコロト氏および他のIPCチームとともに第4回IPCラウンドを実施しました。参加者には、同病院のIPCチームに加えて、ルサカ州保健局(LPHO)の主任環境保健担当官であるキャセル・チボラ氏、マテロ病院の医療機器技術者であるアーロン・カブウェ氏も加わりました。チボラ氏とカブウェ氏は、「今回のIPCラウンドが勉強になり、感染予防管理(IPC)チームと医療器材管理(MET)部門との協力がいかに必要がを示す機会になった」と述べました。

11月14日には、チャワマ病院で第3回IPCラウンドが実施されました。その際も、ルサカ郡保健局(LDHO)の臨床ケア専門家(HCC)であるチョウ

ルウェ・シアンチャパ氏、同じく郡保健局の医療器材技術者(MET)であるフライデー・マタフワリ氏、ルサカ州保健局の看護主任であるイヌトゥ・バングウェタ氏が参加しました。チャワマ病院の医療器材技術者であるダリウス・ムレンガ氏と各部門のIPCリンクパーソンと部門長(HOD)は、州保健局と郡保健局、看護部長のロレイン・チコンカ氏の参加を喜び、各部門の取り組みに影響を及ぼす問題を直接共有できたと述べました。今回外部から参加した人々は、チャワマ病院のIPCチームの仕事ぶりや、各部門における感染予防管理プロトコル導入の実際、またIPCチームとMET部門との連携に感銘を受けました。

参加者は皆、IPCラウンドに参加できたことに感謝し、この経験は、2025年1月に迫る国別研修「病院管理(感染予防管理、医療機器管理)強化における日本のアプローチと経験」の準備に役立つと述べました。

## 国立国際医療研究センター（NCGM）の国際医療協力局から 局長と部長がカニヤマ病院を訪問

2024年11月7日、カニヤマ一次レベル病院（FLH）のラファエル・ンゾロ院長とスタッフが、東京から来訪した国立国際医療研究センター（NCGM）国際医療協力局の宮本哲也局長と藤田正美部長を迎えました。国立国際医療研究センターは、ザンビアのJICAプロジェクトに長期専門家を派遣しており、前任のチーフである法月正太郎氏と現チーフの村井真介氏が、同センターより派遣されています。

両名は、JICAのパートナーとして、同センターが専門家を派遣しているザンビアのJICAプロジェクトを視察するためにザンビアを訪れました。施設見学に訪れたのが、プロジェクトサイトのひとつであるカ

ニヤマ病院でした。宮本局長と藤田部長は、産科（産前、産後）部門、外来部門、薬局部門、サテライト薬局を視察しました。ンゾロ院長と各部門の責任者は、日々の仕事で直面する問題、5Sや感染予防管理の取り組みなどを紹介しました。また、診療部長（HCC）のローズマリー・カバレ氏は、病院がどのようにバランス・スコアカードを病院の計画に取り入れており、病院の管理能力強化に役立っているかを説明しました。

両名は、カニヤマ病院が、夕方でも患者が途切れることなく来院する中、病院スタッフは献身的に仕事に取り組み、非常にうまく患者さんに対応している様子に感銘

を受け、「この良い習慣は、経営陣と全スタッフが努力を続けてきた成果です」と発言しました。

宮本局長と藤田部長は、ルサカ州保健局長のシムルヤマナ・チョオンガ氏への表敬の中で、プロジェクトの成果の一つとして、病院の良い取り組みを病院マネジメントハンドブックとして文書化する道筋について意見交換を行いました。プロジェクトは今、2025年5月までに病院マネジメントハンドブックをかたちにすることが優先課題です。



カニヤマ一次レベル病院の薬剤師、ユニス・ニャンベ氏が薬剤部門で実施されている5SプロトコルをNCGM視察団に紹介。ニャンベ氏は、日本で以前実施された国別研修に参加した経験あり。

フォト・フォーカス



第2回国別研修オリエンテーションの集合写真。



ルサカ州保健局の看護主任バングウェタ氏がチレンジエ一次レベル病院のIPCラウンドに参加している様子。



ニャンガ専門家が、マテロ一次レベル病院でのIPCラウンド中にて、マテロ病院のカンコロト氏、ルサカ州保健局のチボラ氏と活動している様子。



カニャマ一次レベル病院のニョニ氏と看護師のシラヴェ氏が、分娩室の統計データをNCGM視察団に紹介している様子。



ルサカ郡保健局のマタフワリ氏が、チャワマ一次レベル病院のIPCラウンド中に、ムレンガ氏、ダカ氏、ムエンヤ氏とともに活動している様子。



国別研修の候補者が、JICAザンビア事務所で実施されたオリエンテーションに参加している様子。



NCGM視察団、JICAザンビア事務所、カシオペアプロジェクト、カニャマ一次レベル病院スタッフとの集合写真。

編集・デザイン: コンベ カパタモヨ

編集: 緒方 敬

編集長: 村井 真介

連絡先

村井 真介 ルサカ郡病院運営管理能力強化プロジェクト チーフアドバイザー

住所: Plot No.11743A, Brenwood Lane,  
Longacres. P.o. Box 30027, Lusaka,  
10101, ZAMBIA

Cell: +260 765 192 865 (official)